

5月も半ばを過ぎ、すっかり初夏の陽気となってきました。気温も一気に上がり、やわらかな日差しに、吹きぬける風も心地よく、外に出るだけで気分もよくなってきます。身軽になって、外に飛び出してみませんか？

イベント案内

初夏のハイキング&キャンプ

～湖南アルプス・鶏冠山へ！～

あれから1年。そう、「これがハイキングか？」と多くの感想をいただいた、あの鶏冠山へ！！あえて今回再び挑戦いたします！

1年を経て、「ハイキングだ！」と言いきることができるようになっていないでしょうか？初挑戦の方は、今回じっくりとPAOのハイキングを堪能してみてください。

また、希望者の方はそのままキャンプにしようと考えております。

日 時：5月27日（土） 午前8時30分集合

目的地：滋賀県・鶏冠山（491m）／湖南アルプス

集合場所：JR千里丘駅〔JR京都線・大阪駅より普通で約15分〕

（改札を出て左前方の階段を下りたところ。喫茶店CITYの前）

持ち物：弁当・水筒・雨具

参加費：¥4,000－（ハイキングのみ）

¥9,000－（ハイキング&キャンプ）

申込み：参加希望者は5月24日までにご連絡ください。

その他：岩場も多く、ロープ・クサリ場もあります。しっかりした靴でご参加ください。下山後は温泉に立ち寄ります。

ハイキングのみの参加の方は、現地で解散となります。

キャンプに参加される方は、シュラフ、食器、着替え等もご用意ください。

今後の活動予定

6月24日～25日（23日夜出発）にかけて木曾の御嶽山登山企画を予定しております。梅雨の時期となってきますが、雨天の場合は、温泉&キャンプでもどうでしょうか？

目的地：御嶽山（3067m）／岐阜県～長野県（経験者向き）

参加費：¥15,000－

申込み：参加希望者は6月15日までにご連絡ください。

その他：3000mを越える山です。しっかりした装備が必要です。

7月には、夏山登山、北アルプス・白馬岳を計画中（7月13日夜～16日予定）です。このほか、緊急企画として、ハイキング・釣りツアーも検討しております。みなさまのご意見・ご希望ドシドシお寄せください。

イベント報告

NO. 47

樹氷ハイキング (奈良県・高見山)

2000. 1. 29

トンネルを抜けると、目の前に飛び込んできた。明らかに他の山とは違う、白く輝く山、高見山である。

道の両側にズラリと並ぶ、おそらく登山者であろう車の列。

「出遅れたか…？」時刻は11時20分。

「ホントに樹氷は見れるのか？」

高見登山口より歩き始める。樹林地帯を抜けると、目指す高見山が再び姿を現した。暖かい日差しを浴びながら残雪を踏みしめ、のんびりと歩を進める。

小峠に到着。一面に雪が見られるようになった。ここでアイゼンを付け、杉谷・平野道分岐の方向に進路をとる。今までとは違い、一気に急斜面となった。思ったほど雪もなくアイゼンはむしろ邪魔となる。

やはり、樹氷の季節、人気のある山のためかひっきりなしに下山者とすれ違う。

雪が少し深くなってきた頃、頭上の木々にも積雪が見られる。樹氷だ！！吹きつける風のため一方の面だけに雪がついている。その樹氷のトンネルを抜けると、間もなく頂上に着いた。雪は残っているものの、暖かく気持ちがいい。

下山後は、東吉野温泉へと立ち寄り汗を流す。

あとは、いつもの定番コース、お好み焼きの二次会で締めくくり。

NO. 48

第4回スキーツアー (岐阜県・ダイナランド) 2000. 2. 25-26

総勢17名となった今回のスキーツアーは、貸切バスでのツアーとなった。

深夜に千里丘を出発後、目覚めればそこは岐阜県・ダイナランドスキー場！！

う～ん、ぐっすり眠って、渋滞の運転疲れも感じることなく到着とは、やはりバスは楽でええなあ！！

早速着替えて、スキー・スノーボード・ショートスキーとみな思い思いのスタイルでスタート。天気はイマイチだったものの、上からの山の眺めは、「また登ってみよう」と思わせるほどすばらしいものです。

さすがにこれだけの人数では一緒に滑ることもできないため、昼食で再び集合。

帰りの運転を気にすることもないので、ビールを飲んで、あとは出発の時間まで存分に滑ったのでした。

帰路、湯の平温泉に立ち寄りさっぱりしたあとは、バスの中での宴会がスタート！これがまた、みんな飲むわ！飲むわ！ワイン・ビールもすっかり飲み干し、すっかりいい気分で過ごしている間に、千里丘に無事到着。

みなさん、おつかれさまでした。しかし、一度こんなツアーをやってしまうと、やめられなくなりそうです。

あとは、まだまだ元気な人たちが二次会お好み焼きへとなだれ込んだのでした。

NO. 49

鍋&温泉 (大阪府・摂津峡)

2000. 3. 11

やはり、と言うべきでしょうが、桜の咲く頃になると多くの人で、車で近くまで来るとさえもままならない摂津峡ではありますが、こんな3月半ばのまだ寒い時期、おまけに

昼からは雨の天気予報では、ここに遊びに来る人も見当たりません。そんななか、酔狂な集団にみえるでしょうPAOの鍋パーティーがはじまったのでした。

今回集まった、ものずきな連中は私を含めて6名。鍋はカニすきと寄せ鍋の2つ。

下準備が整った頃、ポツリ、ポツリと早速ふりだしてきました。それでも、予想どおりの雨、タープの下で宴会スタートです。少々寒いですが、食べはじめればなんのその、雨も気にならなくなり、カニに食らいつきます。

「あ〜、うまいなあ〜」しかし、こんなところで雨降る寒いなかやっってるのは、やっぱり変わった集団やろなあ！？

最初は多すぎたかな？と思った食材もすっかり食べ尽くし、最後は雑炊で締めくくったのでした。

撤収後は、摂津峡温泉で体を温め、帰路へと着きました。

NO. 50

春のハイキング（兵庫県・六甲山）

2000. 3. 26

総勢18名となった、春の六甲山ハイキング。今回は、芦屋川から有馬温泉へと抜けるコースなので、電車での集合となりました。

9時25分、阪急芦屋川駅を出発。約30分で高座の滝へ到着。ここで、しばし休憩。ここから登山道へとなってきます。岩場のロックガーデンに入るとすぐに、イノシシが登場！このへんでは、そこそこにイノシシがあらわれる。

風吹岩あたりまで来て、振りかえれば阪神間の街並みの向こうに、大阪湾から神戸の海が眼下に広がる。

12時50分六甲山頂・931mに到着！3月の終わり、春の訪れが感じられるものの、まだまだ寒い。昼食の弁当もそこそこに、ここからは一気に有馬温泉を目指します。

1時間足らずで下山。温泉でゆっくり温まり、汗を流しました。

そして、そのまま有馬で二次会。ここでもやっぱり、お好み焼きなのでした…。

PAO企画番外編

緊急企画として突然に参加者を募り、都合のついた者だけで、あちこち訪れております、PAOの企画番外編！！

今後も、いつ突発的に召集？が、かかるかもわかりません…。みなさまのご参加お待ちしております！！

春山登山／大山（鳥取県）2000. 4. 1

出発は3月31日の深夜、と言うよりも4月1日の早朝と言ったほうがいいのか？3時30頃、大阪を出発。睡眠不足のままの、運転はさすがにつらい。途中、サービスエリアで仮眠を取りながら、大山を目指す…。すっかり夜も明けたころ、蒜山サービスエリアに到着。大山までもう少し…？ん！あれが、大山ではないか！！

見れば、真っ白な大山！ある程度の雪は予想してはいたが…ここから見る限り、これは完全な雪山ではないか！！

登山口からの積雪は50cmを超える。最初からアイゼンをつけての山行となった。それでも、登山者は多いのか、踏み跡が続いている。夏に一度登ったことがあるが、登山道らしきものはあとかたもなく、ただただ頂上へ向けて、一直線に足跡を追うばかりである。

登山口より1時間半。6合目の非難小屋はすっぽり雪に埋もれている。しかし、天気は最高！眺望もすばらしい。ただ、この急斜面はあまりにもきつい。足を滑らせれば、一気に登山口までたどり着くだろう。

2時間と少しで頂上に到着！直登してきたためか、夏山よりも速いペースで着いたようだ。あたりは、一面雪だらけ。頂上小屋もわずかに屋根の一部を見せるだけである。

天気はいいものの、風は冷たくきつい。雪の中を歩くのは、こんなにも疲れるものなのか…。しかし、しかし、しかし、そう簡単に見ることのできない、この眺め！！この感動は、クセになりそうだ！

春山登山／白山（石川県）2000.5.3～5

PAOの企画でも、以前夏山登山にきたことのある白山。さて、今回はゴールデンウィークに行ってみました。さて、どうなることやら???

夏山なら、バスで来ることができる登山口、別当出合。今回は雪のため、車は通行止め。市ノ瀬から約2時間かけて歩くことになった。5月とは言えまだまだ雪が残る。別当出合でも1m50cmほどの積雪。この先は、どれほどの積雪だろう？果たして、今回はどこまでいけるだろうか？

橋を渡り砂防新道へ。かなりの装備の上に、雪山を歩くのはきつい。それでも、一歩づつ、ゆっくりと休みながら進む。12時半、少し展望の開けたところで昼食にする。晴れ渡る空に、雪の中でも寒くない。その分、顔が焼けそうだ！

息が上がる！5分毎の休憩が1分毎になり、やがて10歩進んでは休むようになる。そうこうしているうちに、どうにかたどり着いた標高2000m。おそらく甚之助非難小屋付近であろう、もちろん小屋は雪に埋もれて見当たらない。このあたりで4mほどの積雪であろうか？今日はここで、テント泊とする。

日が落ちれば、途端に冷え込み風が出てきた。あまりの寒さに、テントに入りシュラフに潜りこむ。19時消灯。疲れてはいたが、さすがにこの時間では眠れない。

あまりの風の音に目がさめる。テントは持ちこたえるであろうか？このまま飛ばされてしまわないだろうか？雪崩は大丈夫だろうか…いろんなことを想像してしまうが、またいつしか眠っていたようだ。

吹き荒れた風は嘘のように止み、また力強い日がふりそそぐ中、頂上を目指す。あと700mほどだ！！しかし、高度をかせぐにつれ昨日よりもさらに、動きが鈍くなっていく。「こんなはずでは…?!」と考えてみるが、くやしいかな身体は思うように動かない。それでも何とか室堂に到着。小屋はかろうじて屋根をのぞかせている。そして、ついに頂上が目前となった！あとは直登あるのみである。

最後の急傾斜はよじ登るような格好での登頂となった。やった！！ついに来た！！白山頂上2702m。しばし、ここからの眺めを堪能する。

登りと下りとは雲泥の差である。こんなに楽で、そしてこんなに楽しい下りがかつてあっただろうか？ただ、斜面に足を投げて座りこみ、滑り台よろしくあとは身をまかせただけである。ピッケルをブレーキに、思いきり滑り降りる時の爽快感！これは、楽しすぎる！

午後3時25分。全員無事市ノ瀬まで下山。振りかえり仰ぎ見る白山。雪は7月くらいまで解けないだろう。山には夏と冬しかない、と言うことをあらためて感じたのでした。

【以上 栗原隆一 記】

Tent Site

1～3月までのイベントのみなさまの感想、ご意見を紹介いたします。

<No. 47 樹氷ハイキング（奈良県・高見山） 2000.1.29>

[12 - 163 桜尾 純子]

今回のイベントについて…初めて参加させて頂き、最初は皆さんにちゃんとして行けるか心配でしたが親切に声をかけて頂きながら何とか頂上まで登ることが出来ました。天候にも恵まれて、美しい樹氷が見られてうれしかったです。2次会も楽しかったデス。

サークルの雰囲気について…皆さん明るくて楽しい雰囲気だと思いました。

<No. 48 第4回スキーツアー（岐阜県・ダイナランド）2000.2.25-26>

[11 - 147 森川 浩]

23：30いつもの千里丘に集合。そこからなんと豪華貸切バス！！での出発でした。

PAOに入会して初めてのスキーツアーです。みんなスキーとボードどっちするんやろう？と思って聞いてみたところ参加者17人中14人がスキーで、2人がボード初心者と言うことで自称ボード中級者の私としては少し寂しかったです。ゲレンデに到着したのは4：30位だったと思います。道中はとっても熟睡できて、バスがバックする音でフッと目がさめて栗原氏に「どこのサービスエリアですか？」と聞くと、「もうついたで」の一言でした。さすがリーダー！一応熟睡せずに様子は見ていた？ようです。

朝の6時から滑り始めたので10：30に昼食をとり14：00ゲレンデ撤収でした。

ゲレンデでは結局みんなバラバラになってしまったのですが、栗原氏とは一緒に滑ることができました。登山では圧倒的な体力と技術を持つ栗原氏ですが、スキーの腕前はと言うと……こちらも圧倒的でした。その動きはまるでガンダムに登場する「赤い彗星のシャーン」のようにゲレンデの中をすり抜け、スピードは**オービス映りまくりで即免停で罰金10万円級**の速さでした。天気の方は吹雪こそなかったものの空はどんよりとして、風はあまり無かったけど少し寒かったです。その後帰りに温泉に立ち寄り20：30千里丘での解散となりました。皆様大きな怪我も無く無事解散できたのでとっても良かったと思います。ここからは少し余談なのですが、私は今年スキー場に6回位行きました。その中で「お連れ様が怪我をなさいましたので」のアナウンスを聞かないときは一度も有りませんでした。最近ボーダー人口の増加にともない事故が増えているのも事実です。少々偉そうなことを言いますが、「自分の実力以上のコースには絶対に行くべきでは無い」と思いますし、特にスノーボードを始められるときは必ずスクールに入ることをお勧めします。ボード＝足固定＝複雑骨折よりも本当に怖いのは、急性硬直下血腫です。

これは転倒時に外傷はないのですが、頭の中で静脈が切れていて少しづつ気分が悪くなっていき急に意識不明になるというやつです。偉そうなことを述べてしまいましたが、スノーボードはスキーに比べて覚えるのが楽だとおもいます。

バスの手配に帰りの渋滞等も考えての場所の選定。栗原さん、ありがとうございました。また来年も期待しています！

[12 - 163 桜尾 純子]

これ程大勢でスキーへ行けるなんて高校修学旅行以来でとても楽しかったです。しかし、バスをチャーターした事で赤字になってしまったのが心配です。こういった場合、会費を増額しても良いと私は思うのですが…

<No. 50 春のハイキング (兵庫県・六甲山) 2000.3.26>

[12 - 163 桜尾 純子]

少し風がきつかったけれど、良い天気恵まれて(山頂では少し雪が降ってましたが)爽やかな、一日をすごす事ができました。今までにも何度か登ったことのある山ですがこんなに大勢で登るのははじめてだったので、又違う雰囲気良かったです。下山してお風呂につかってからの、ビールとお好み焼きはとても美味しかったです!

□■編集後記■□

みなさまお久しぶりです。PAO通信も3か月ぶりの発刊となってしまいました。あまりにも間があいたので、つぶれてしまったんじゃないかな?と思われる方もおられたのではないのでしょうか◆さて、気候も良くなりアウトドアでの活動が楽しくなってくる季節で、PAOの活動もますます充実させていきたいところではありますが、私事ながら4月~5月にかけては多忙な時期と重なり、思うように計画が立てられない状況でありました。つきましては、みなさまには大変申し訳ございませんが、しばらくは計画的な企画を見合せておりました。ご了承ください◆イベントが実行できると判断した段階で、みなさまにお知らせしております緊急企画は随時実施しておりますので、都合が合うようでしたら、みなさまぜひともご参加ください。お待ちしております◆夏はもう間近!夏休みの計画は考えておられますか?また、楽しい報告お寄せください◆

PAOホームページ公開中!!

アドレスは、<http://odcpao.com>

PAO通信・PAOの活動に関するご意見、ご希望また企画や体験談などお寄せください。お待ちしております。

メンバーリストも開設しております。PAO企画番外編の写真等は、こちらで公開中!メンバー間での連絡にもご利用ください。会員専用ページとなります。詳しくはPAOホームページまたはEメールにてお問い合わせください。

緊急企画等につきましては、PAOホームページおよびEメールにてお知らせしております。パソコン・携帯情報端末・FAX等お持ちの方は、アドレス・FAX番号をお知らせください。お持ちでない方は、電話・ハガキ等にてお問い合わせください。

また、イベントに参加を希望される方は、**入会申込書をご提出ください**。これまでに、参加されていた方も提出されておられない方はよろしくお願いたします。

今後、PAO通信・イベント案内等をご連絡できなくなることがあります。

アウトドアサークルPAO 栗原隆一

Eメールでも受付中!アドレスは: info@odcpao.com

00.5.20